

ユニバーサルデザイン都市札幌

自由

開講年次：3年次前期

科目区分：講義＋演習

単 位：2単位

講義時間：30時間

■**科目のねらい**：パラリンピック開催が地域社会に与える影響、特に生活環境・観光・社会インフラ・住民の相互交流等をユニバーサルデザイン視点から整備・促進するための方法論について学ぶ。

■**到達目標**：①北海道および札幌市におけるユニバーサルデザインの意義と方法論の理解
②パラリンピックがユニバーサルデザイン都市実現に果たす役割の理解

■**担当教員**：【○は科目責任者】

◎酒井 正幸、中原 宏、高井 真希子、張 浦華、小宮 加容子

■**授業計画・内容**：

第1回 概要とオリエンテーション

第2回 パラリンピックの概要と意義

第3回 パラリンピックと障害者スポーツ

第4回 ユニバーサルデザイン社会

第5回 オリンピック・パラリンピックとまちづくり（その1：札幌冬季オリンピック1972と札幌の都市計画）

第6回 オリンピック・パラリンピックとまちづくり（その2：札幌冬季オリンピック1972と真駒内のまち）

第7回 ユニバーサルデザイン都市における「おもてなしトイレ」整備

第8回 北海道のユニバーサルツーリズム

第9回 障害者へのサポート体験（車椅子ユーザー）

第10回 外国人へのサポート

第11回 盲導犬を知る

第12回 「ユニバーサルデザイン都市札幌のコンセプト提案」をテーマとするワークショップ（1）

第13回 同上ワークショップ（2）

第14回 同上ワークショップ（3）

第15回 ふりかえりと総括

■**教科書**：

■**参考文献**：

■**成績評価基準と方法**：授業態度50%、課題レポート50%

■**関連科目**：ユニバーサルデザイン論

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：地域のユニバーサルデザイン化は人間空間デザインおよび人間情報デザインの両コースに共通する課題であり、コースを問わず受講することが望ましい。